

2018 年度第 2 回環境科学部環境フィールドスクール「東彼杵町赤木地区におけるお茶摘み体験と製茶工場の見学」が行われました。

2018 年度第 2 回環境科学部環境フィールドスクール「東彼杵町赤木地区におけるお茶摘み体験と製茶工場の見学」が 6 月 3 日（日）に行われました。今回の取り組みは、長崎新聞社の主催、TOYOTA SOCIAL FES!!の協賛のもと「TOYOTA SOCIAL FESS!! Presents ～もっと東彼杵自然体験プロジェクト～東彼杵の豊かな自然を楽しもう」というテーマで実施されたもので、長崎大学環境科学部の学生だけでなく、県内の大学生や一般の住民の方も参加しました。

学生たちは実際に東彼杵町三根郷の赤城地区を訪問し、手摘みによるお茶摘みを体験すると共に、お茶入れ講習を受け、製茶工場の見学を通じて昔ながらの「釜炒り」製法を学ばした。東彼杵町の自然を身近に感じる、お茶の魅力と奥深さを学ぶ機会となりました。



釜炒りの様子



お茶揉みの様子



お茶手もみの様子



お茶入れの様子